

# 西東京市市政モニター 平成 30 年度第2回調査結果

## ●テーマ

「子育て支援」について【子育て支援課・子ども家庭支援センター】

## ●調査目的

西東京市の子ども子育て施策推進のため、市政モニター制度を活用して、普段、子ども子育て施策について意見を聞くことが少ない子育て世帯以外の意見を徴取し、子育て経験の有無による市民の認識や意向の違いを確認して、子育て支援施策の周知方法等を検討するため。

●実施期間：平成 30 年 12 月 25 日(火)～平成 31 年 1 月 31 日(木)

●登録者数：100 人

●回答者数：76 人(回答率 76%)

※割合の表示については、設問に応じて分母が異なること(回答者数又は全回答数)や、少数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合があります。

※自由記述や「その他」の回答については、一部表現を修正・抜粋しています。

平成 31 年 3 月



西東京市 企画部秘書広報課

# 目 次

平成 30 年度西東京市市政モニター回答者及び登録者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

## 【子どもの居場所について 問1～問10】

問1	あなたは、どのような関係・場面で子育てをしたことがありますか。・・・・・・・・ 2
問2	西東京市は、子どもの居場所が整っていると思いますか。・・・・・・・・ 3
問3	子どもの居場所だと思う場所はどこですか。・・・・・・・・ 4
問4	小学生が、放課後どのように過ごすのが望ましいと思いますか。・・・・・・・・ 5
問5	中学生が、放課後どのように過ごすのが望ましいと思いますか。・・・・・・・・ 6
問6	高校生世代が、放課後どのように過ごすのが望ましいと思いますか。・・・・・・・・ 7
問7	子ども食堂など地域でのサロン活動のような子どもの居場所づくりに参加してみたいと思いますか。・・・・・・・・ 8
問8	問7で「①思う」と回答した方へ、現在参加している居場所はありますか。・・・・ 9
問9	問8で「①ある」と回答した方へ、参加している居場所はどこですか。・・・・ 9
問10	問8で「②ない」と回答した方へ、理由は何ですか。・・・・・・・・ 10

## 【児童虐待について 問11～問21】

問11	あなたは、親が子どもをたたくことについてどのように考えますか。・・・・・・・・ 11
問12	問11で「②理由があれば仕方ないと思う」とお答えの方に伺います。子どもをたたく理由として仕方ないと思うものはどれですか。・・・・・・・・ 12
問13	あなたは、「児童虐待」について、どの程度関心をお持ちですか。・・・・・・・・ 13
問14	あなたが児童虐待と感じるものはなんですか。・・・・・・・・ 14
問15	身近なところで児童虐待と思われる状況を見たり聞いたりしたことはありますか。 ・・ 15
問16	児童虐待が行われている家庭を知ったとき、あなたなら最初にどうしますか。・・・・ 16
問17	公的機関に児童虐待の通告をするとしたら、どこにしますか。・・・・・・・・ 17
問18	あなたは、なぜ児童虐待が起こると思いますか。・・・・・・・・ 18
問19	児童虐待を防止するため、どのようなことが必要だと考えますか。・・・・・・・・ 19
問20	児童虐待について、あなたが知っていることを次の中から全てお選びください。・・ 20
問21	児童虐待防止のために、あなた自身何ができると思いますか。・・・・・・・・ 21



## &lt;市政モニター登録者の属性&gt;

全体		(人)			(%)
		男性	女性	合計	割合
		50	50	100	
年代	18～29歳	8	12	20	20.0
	30～39歳	10	10	20	20.0
	40～49歳	10	10	20	20.0
	50～59歳	11	9	20	20.0
	60歳～	11	9	20	20.0
地域	北東部	11	12	23	23.0
	中部	11	12	23	23.0
	西部	12	11	23	23.0
	南部	12	10	22	22.0
	市外	4	5	9	9.0

※年代・地域は登録時(平成30年7月)の情報を反映しています。

- ・北東部…ひばりが丘北・北町・栄町・下保谷・東町・中町・富士町
- ・中部…北原町・泉町・住吉町・田無町・保谷町
- ・西部…緑町・谷戸町・ひばりが丘・西原町・芝久保町
- ・南部…南町・向台町・新町・柳沢・東伏見

## &lt;平成30年度第2回調査 回答者の属性&gt;

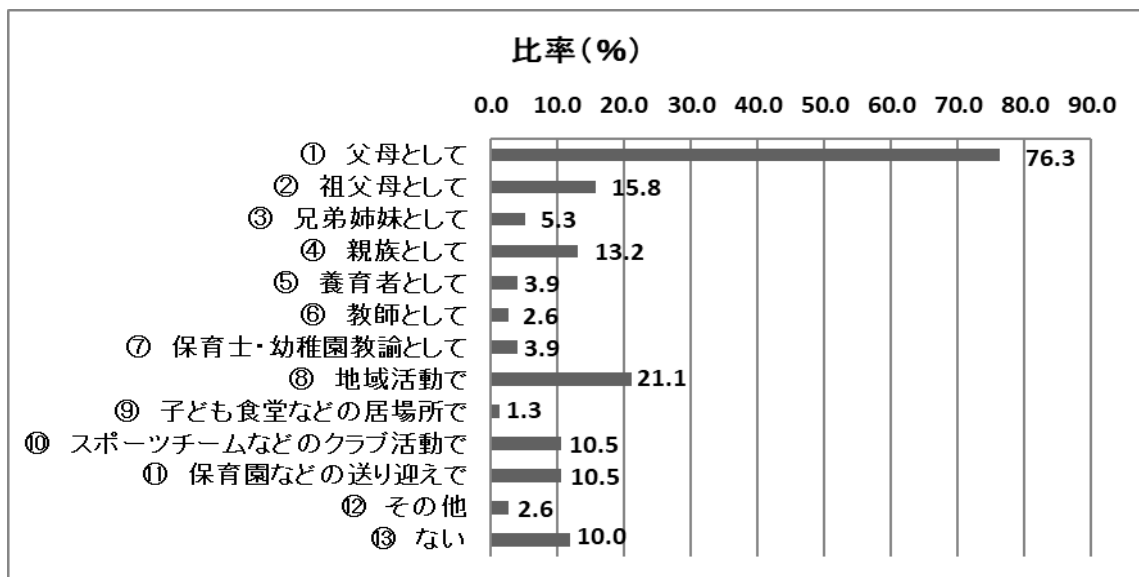
全体		(人)			(%)
		男性	女性	合計	割合
		37	39	76	
年代	18～29歳	6	7	13	17.1
	30～39歳	5	7	12	15.7
	40～49歳	9	7	16	21.0
	50～59歳	8	9	17	22.3
	60歳～	9	9	18	23.6
地域	北東部	11	10	21	27.6
	中部	7	10	17	22.3
	西部	9	9	18	23.6
	南部	6	7	13	17.1
	市外	4	3	7	9.2

問1 あなたは、どのような関係・場面で子育てをしたことがありますか。  
当てはまるものを全てお選びください。

全回答数（件） 136

回答者数（人） 76

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 父母として	58	76.3	1
② 祖父母として	12	15.8	3
③ 兄弟姉妹として	4	5.3	8
④ 親族として	10	13.2	4
⑤ 養育者として	3	3.9	9
⑥ 教師として	2	2.6	11
⑦ 保育士・幼稚園教諭として	3	3.9	9
⑧ 地域活動で	16	21.1	2
⑨ 子ども食堂などの居場所で	1	1.3	13
⑩ スポーツチームなどのクラブ活動で	8	10.5	6
⑪ 保育園などの送り迎えで	8	10.5	6
⑫ その他	2	2.6	11
⑬ ない	9	11.8	5



【⑫その他の意見】

- ファミリーサポートのサポート会員
- 放課後等デイサービスの児童発達支援管理責任者

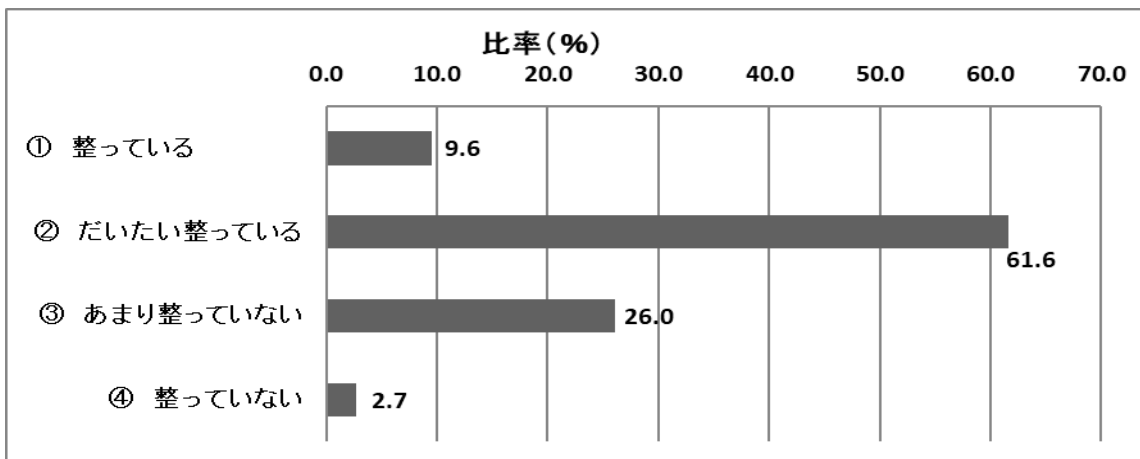
「①父母として 58 件 (76.3%)」が最も多く、次に「⑧地域活動で 16 件 (21.1%)」となった。

問2 西東京市は、子どもの居場所が整っていると思いますか。

全回答数 (件) 73

回答者数 (人) 73

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 整っている	7	9.6	3
② だいたい整っている	45	61.6	1
③ あまり整っていない	19	26.0	2
④ 整っていない	2	2.7	4



「②だいたい整っている 45件 (61.6%)」が最も多く、次に「③あまり整っていない 19件 (26.0%)」となった。

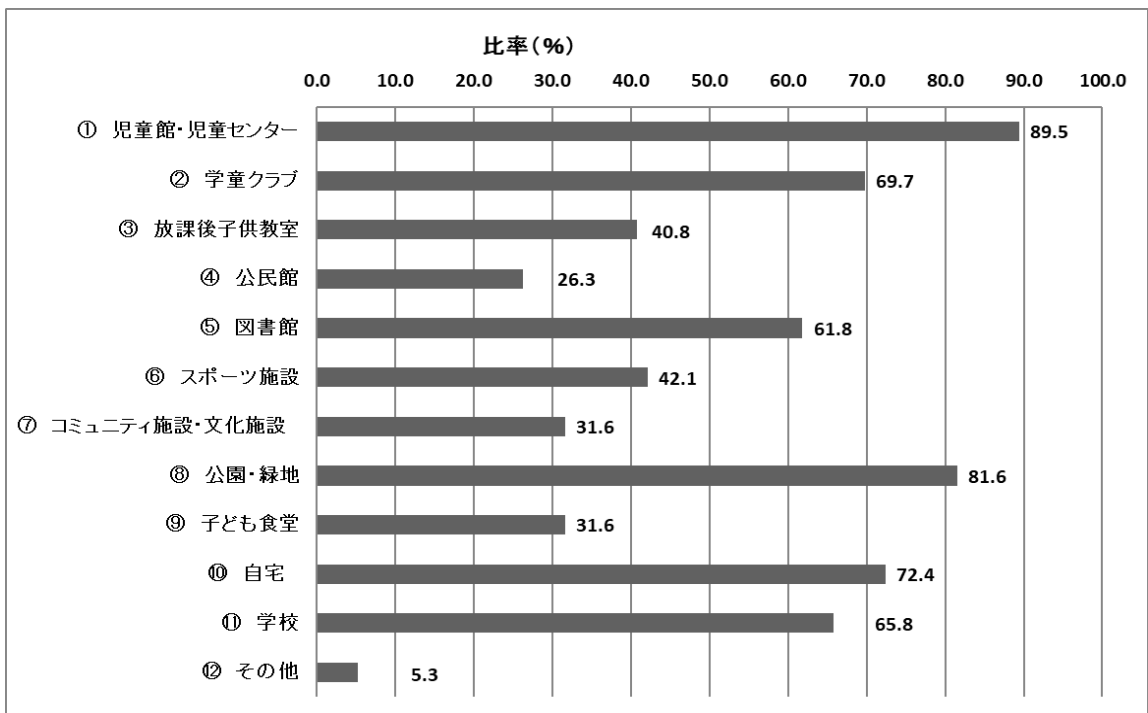


問3 子どもの居場所だと思う場所はどこですか。当てはまるものを全てお選びください。

全回答数（件）470

回答者数（人）76

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 児童館・児童センター	68	89.5	1
② 学童クラブ	53	69.7	4
③ 放課後子供教室	31	40.8	8
④ 公民館	20	26.3	11
⑤ 図書館	47	61.8	6
⑥ スポーツ施設	32	42.1	7
⑦ コミュニティ施設・文化施設	24	31.6	9
⑧ 公園・緑地	62	81.6	2
⑨ 子ども食堂	24	31.6	9
⑩ 自宅	55	72.4	3
⑪ 学校	50	65.8	5
⑫ その他	4	5.3	12



【⑫その他の意見】

- 習い事
- 空き地・車があまり通らない道路
- 友人の家（2件）

「①児童館・児童センター68件（89.5%）」が最も多く、次に「⑧公園・緑地 62件（81.6%）」となった。

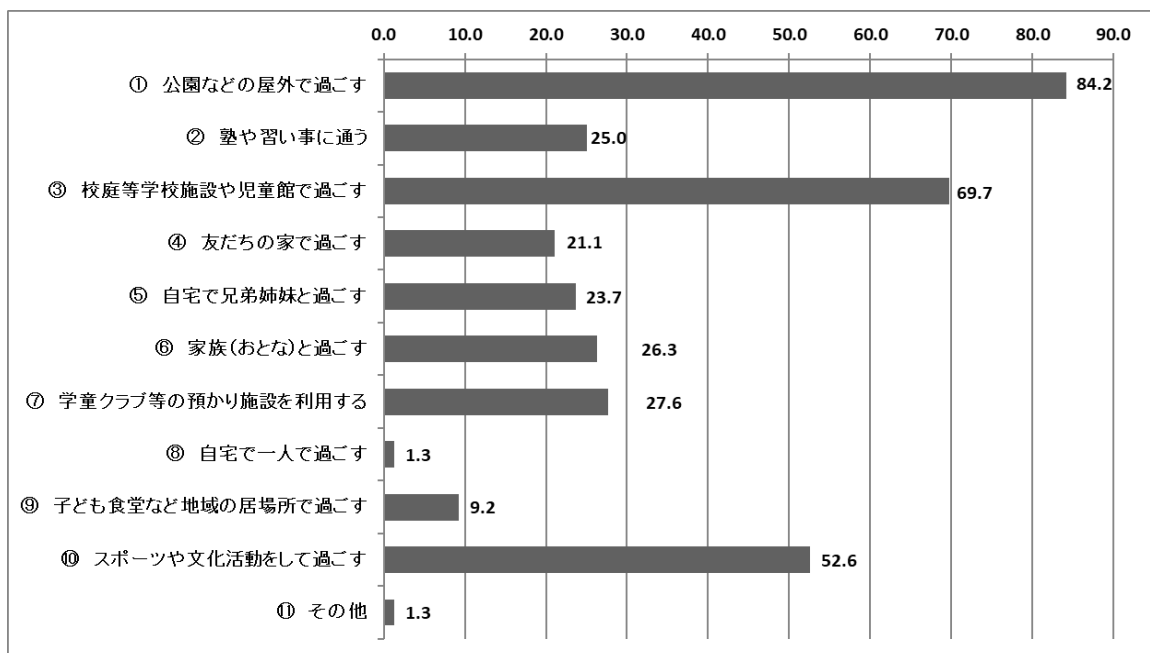
問4 小学生が、放課後どのように過ごすのが望ましいと思いますか。

当てはまるものを3つお選びください。

全回答数（件） 260

回答者数（人） 76

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 公園などの屋外で過ごす	64	84.2	1
② 塾や習い事に通う	19	25.0	6
③ 校庭等学校施設や児童館で過ごす	53	69.7	2
④ 友だちの家で過ごす	16	21.1	8
⑤ 自宅で兄弟姉妹と過ごす	18	23.7	7
⑥ 家族(おとな)と過ごす	20	26.3	5
⑦ 学童クラブ等の預かり施設を利用する	21	27.6	4
⑧ 自宅で一人で過ごす	1	1.3	10
⑨ 子ども食堂など地域の居場所で過ごす	7	9.2	9
⑩ スポーツや文化活動をして過ごす	40	52.6	3
⑪ その他	1	1.3	10



【⑪その他の意見】

- 図書館で楽しく過ごす。

「①公園などの屋外で過ごす 64 件 (84.2%)」が最も多く、「③校庭等学校施設や児童館で過ごす 53 件 (69.7%)」「⑩スポーツや文化活動をして過ごす 40 件 (52.6%)」の順となった。

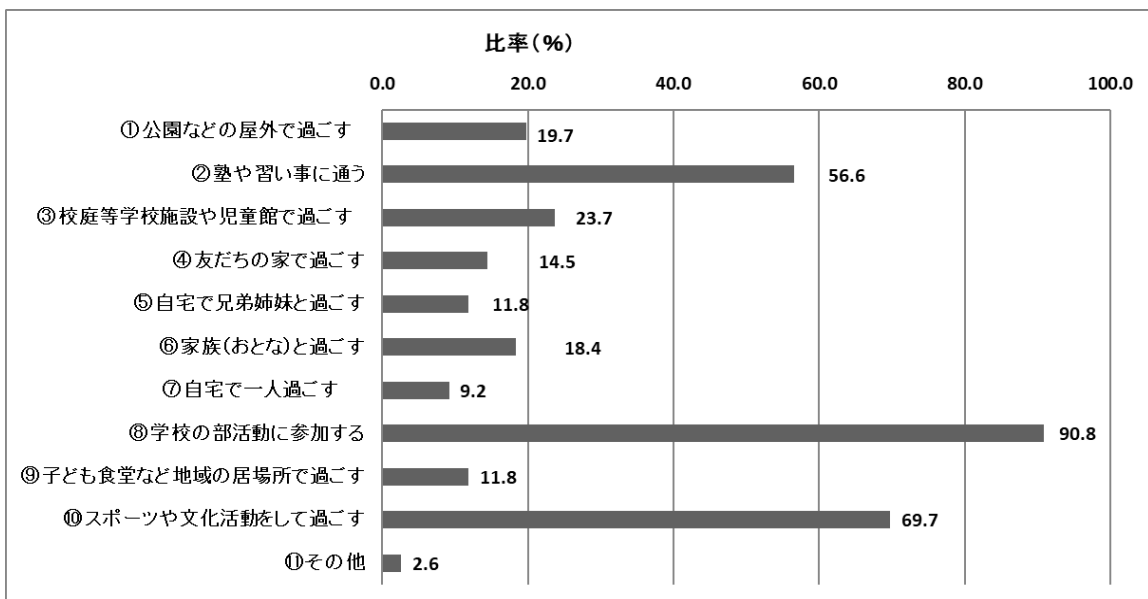
問5 中学生が、放課後どのように過ごすのが望ましいと思いますか。

当てはまるものを3つお選びください。

全回答数（件） 250

回答者数（人） 76

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①公園などの屋外で過ごす	15	19.7	5
②塾や習い事に通う	43	56.6	3
③校庭等学校施設や児童館で過ごす	18	23.7	4
④友だちの家で過ごす	11	14.5	7
⑤自宅で兄弟姉妹と過ごす	9	11.8	8
⑥家族(おとな)と過ごす	14	18.4	6
⑦自宅で一人過ごす	7	9.2	10
⑧学校の部活動に参加する	69	90.8	1
⑨子ども食堂など地域の居場所で過ごす	9	11.8	8
⑩スポーツや文化活動をして過ごす	53	69.7	2
⑪その他	2	2.6	11



【⑪その他の意見】

- どのように過ごすのが望ましいかは一概には言えない
- 図書館で過ごす

「⑧学校の部活動に参加する 69 件 (90.8%)」が最も多く、「⑩スポーツや文化活動をして過ごす 53 件 (69.7%)」「②塾や習い事に通う 43 件 (56.6%)」の順となった。



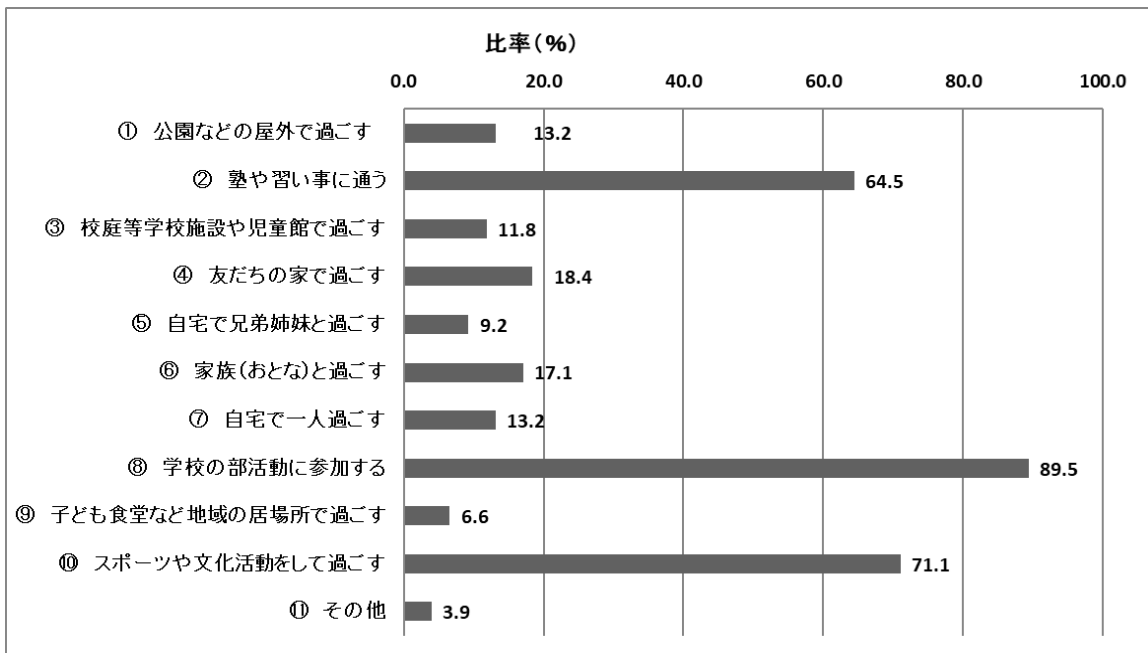
問6 高校生世代が、放課後どのように過ごすのが望ましいと思いますか。

当てはまるものを3つお選びください。

全回答数(件)242

回答者数(人)76

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 公園などの屋外で過ごす	10	13.2	6
② 塾や習い事に通う	49	64.5	3
③ 校庭等学校施設や児童館で過ごす	9	11.8	8
④ 友だちの家で過ごす	14	18.4	4
⑤ 自宅で兄弟姉妹と過ごす	7	9.2	9
⑥ 家族(おとな)と過ごす	13	17.1	5
⑦ 自宅で一人過ごす	10	13.2	6
⑧ 学校の部活動に参加する	68	89.5	1
⑨ 子ども食堂など地域の居場所で過ごす	5	6.6	10
⑩ スポーツや文化活動をして過ごす	54	71.1	2
⑪ その他	3	3.9	11



【⑪その他の意見】

- どのように過ごすのが望ましいかは一概には言えない
- 図書館で勉強等して過ごす。
- 友達と買い物などに出かける

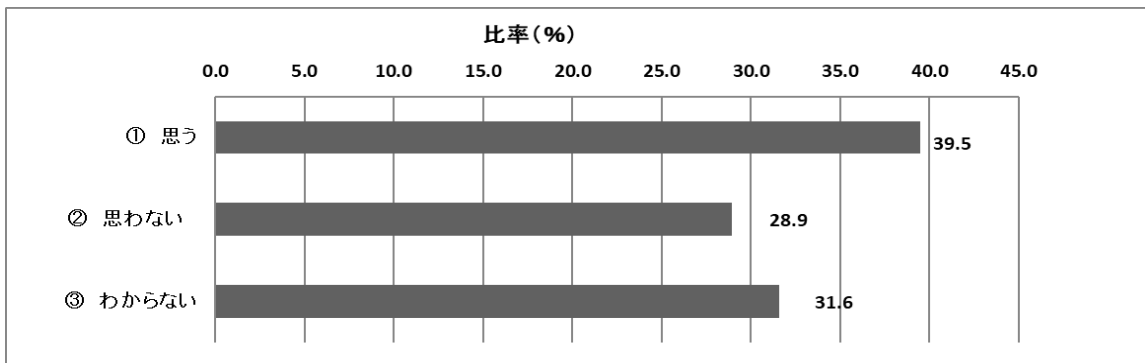
「⑧学校の部活動に参加する 68件 (89.5%)」が最も多く、「⑩スポーツや文化活動をして過ごす 54件 (71.1%)」「②塾や習い事に通う 49件 (64.5%)」の順となった。

問7 子ども食堂など地域でのサロン活動のような子どもの居場所づくりに参加してみたいと思いますか。

全回答数（件） 76

回答者数（人） 76

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 思う	30	39.5	1
② 思わない	22	28.9	3
③ わからない	24	31.6	2



「①思う 30件 (39.5%)」が最も多かった。

「③わからない 24件 (31.6%)」が次に多い結果となった。

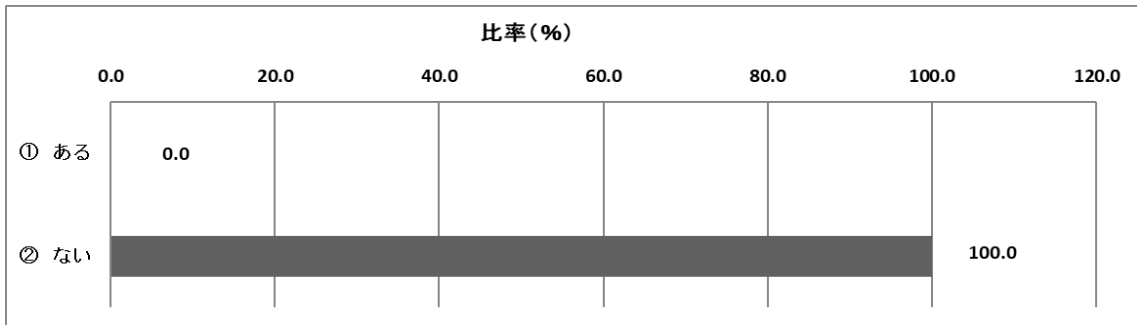


問8 問7で「①思う」と回答した方へ、現在参加している居場所はありますか。

全回答数 (件) 30

回答者数 (人) 30

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① ある	0	0.0	2
② ない	30	100.0	1



回答者の全ての人が「②ない 30 件 (100%)」選択し、「①ある 0 件 (0%)」の回答はありませんでした。

問9 問8で「①ある」と回答した方へ、参加している居場所はどこですか。

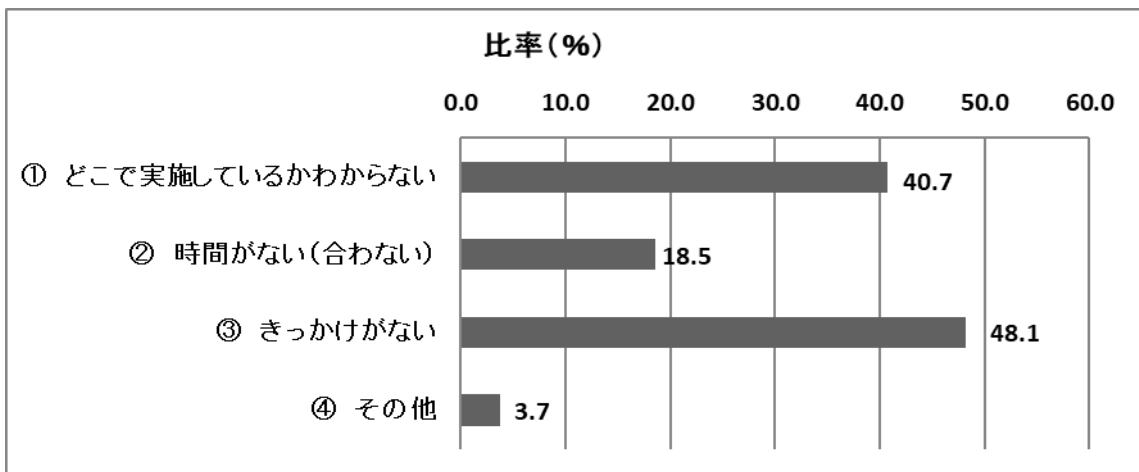
問8で「①ある」の回答はなし。

問10 問8で「②ない」と回答した方へ、理由は何ですか。

全回答数（件） 30

回答者数（人） 27

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① どこで実施しているかわからない	11	40.7	2
② 時間がない(合わない)	5	18.5	3
③ きっかけがない	13	48.1	1
④ その他	1	3.7	4



【④その他の意見】

- 子ども食堂の実態がわからない。食事を提供しているのであれば衛生管理はどうなっているのか。食材の選択や財源はどうなっているのか。ボランティアにまかせているだけなのか。市がどういう風に関わっているのか。これから関わっていく方針。これらを具体的に示して欲しい。
- 引っ越してきたため、地域の情報が入らない。自分の地域には自治会もないためどのように地域にかかわっていけば良いのかわからない。  
以前のところでは自治会子供会敬老会とあり何らかの形で地域との関連を持てるようになっていた。今は高齢者夫婦のため何かかかわりたいと考えても何も接触がない。
- 年齢的に難しい。

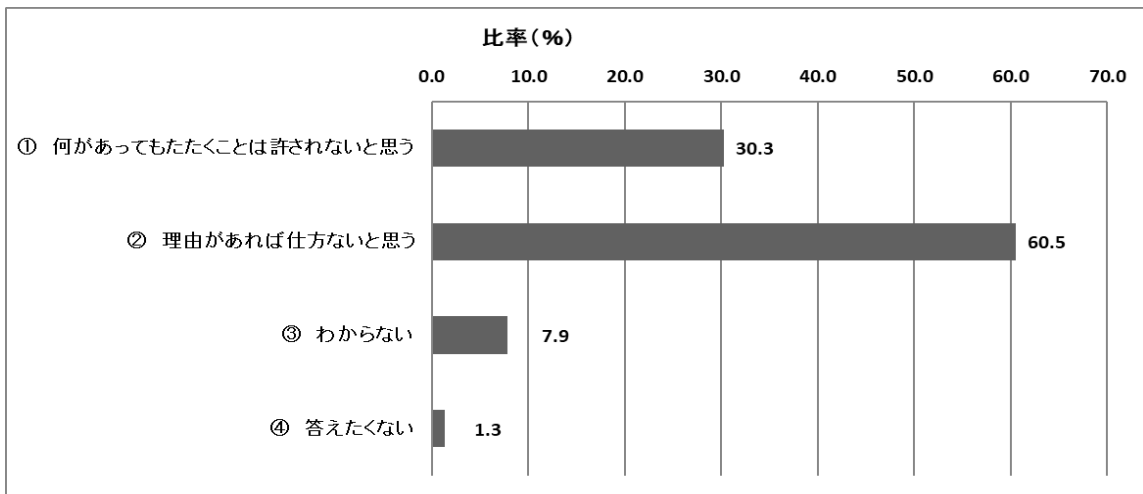
「③きっかけがない 13件 (48.1%)」が最も多く、次に「①どこで実施しているかわからない 11件 (40.7%)」となった。

問 11 あなたは、親が子どもをたたくことについてどのように考えますか。

全回答数（件） 76

回答者数（人） 76

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 何があってもたたくことは許されないと思う	23	30.3	2
② 理由があれば仕方ないと思う	46	60.5	1
③ わからない	6	7.9	3
④ 答えたくない	1	1.3	4



「②理由があれば仕方ないと思う 46 件 (60.5%)」が最も多く、次に「①何があってもたたくことは許されないと思う 23 件 (30.3%)」となった。

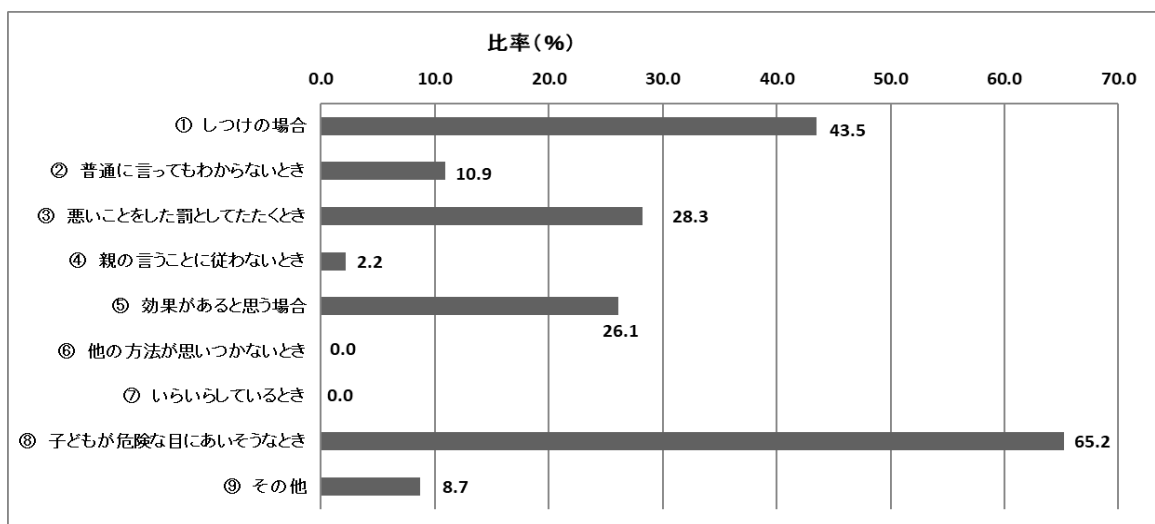
問 12 問 11 で「②理由があれば仕方ないと思う」とお答えの方に伺います。

子どもをたたく理由として仕方ないと思うものはどれですか。当てはまるものを全てお選びください。

全回答数（件） 85

回答者数（人） 46

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① しつけの場合	20	43.5	2
② 普通に言ってもわからないとき	5	10.9	5
③ 悪いことをした罰としてたたくとき	13	28.3	3
④ 親の言うことに従わないとき	1	2.2	7
⑤ 効果があると思う場合	12	26.1	4
⑥ 他の方法が思いつかないとき	0	0.0	8
⑦ いらいらしているとき	0	0.0	8
⑧ 子どもが危険な目にあいそうとき	30	65.2	1
⑨ その他	4	8.7	6



#### 【⑨その他の意見】

- 他人に暴力を振るったり、傷つけたりするようなことをした場合は痛みがどのようなものか分からせるという意味ではしつけや教育の一環なのかなと思う。叩かれた方だけでなく、叩いた方も痛いですし。虐待なのかしつけなのかその線引きを他人がするのが難しいですね。親子、子弟の信頼関係ではないのでしょうか。
- 嘘をついてごまかそうとしたのがバレた時
- 命に関わることで他人を傷つけてしまったり、自分の命を粗末にしたりする時
- 突発的に、小突いたり手でたたいてしまったりすることも、人間だからあると思うから。日常的な方法ではないということ。

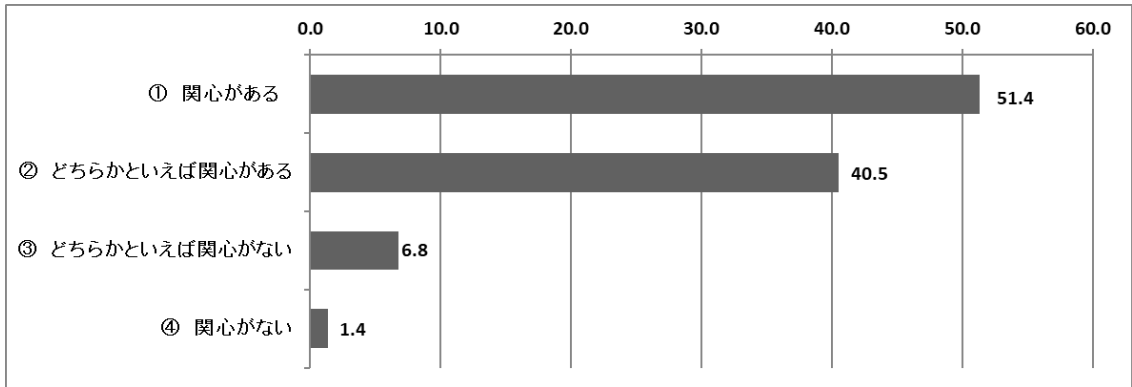
「⑧子どもが危険な目にあいそうとき 30件 (65.2%)」が最も多く、次に「①しつけの場合 20件 (43.5%)」となった。

問 13 あなたは、「児童虐待」について、どの程度関心をお持ちですか。

全回答数（件） 74

回答者数（人） 74

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 関心がある	38	51.4	1
② どちらかといえば関心がある	30	40.5	2
③ どちらかといえば関心がない	5	6.8	3
④ 関心がない	1	1.4	4



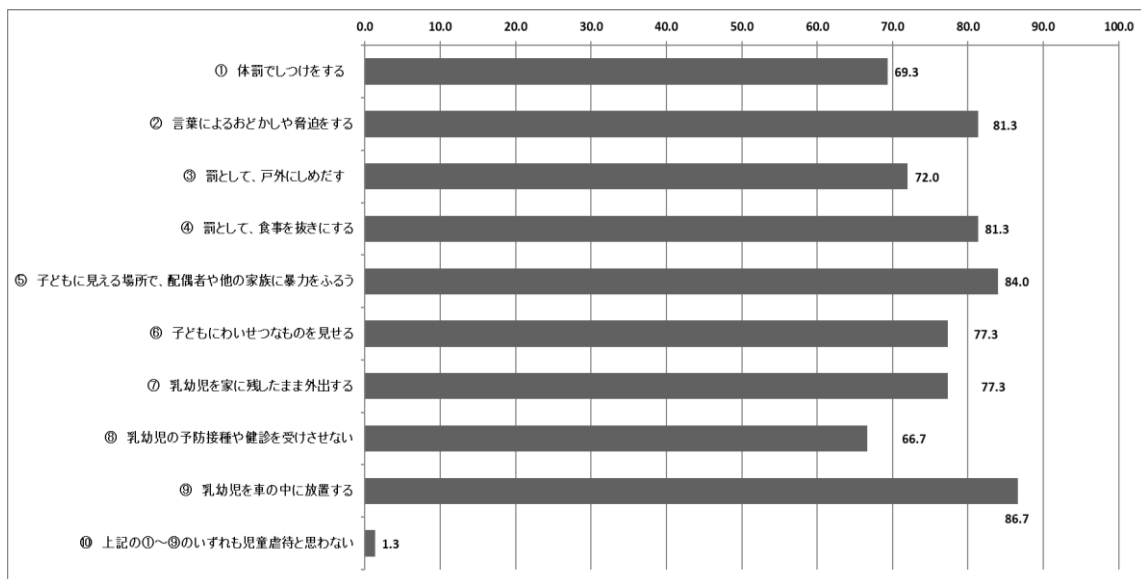
「①関心がある 38 件 (51.4%)」が最も多く、次に「②どちらかといえば関心がある 30 件 (40.5%)」となった。

問 14 あなたが児童虐待と感じるものはなんですか。当てはまるものを全てお選びください。

全回答数（件） 523

回答者数（人） 75

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 体罰でしつけをする	52	69.3	8
② 言葉によるおどかしや脅迫をする	61	81.3	3
③ 罰として、戸外にしめだす	54	72.0	7
④ 罰として、食事を抜きにする	61	81.3	3
⑤ 子どもに見える場所で、配偶者や他の家族に暴力をふるう	63	84.0	2
⑥ 子どもにわいせつなものを見せる	58	77.3	5
⑦ 乳幼児を家に残したまま外出する	58	77.3	5
⑧ 乳幼児の予防接種や健診を受けさせない	50	66.7	9
⑨ 乳幼児を車の中に放置する	65	86.7	1
⑩ 上記の①～⑨のいずれも児童虐待と思わない	1	1.3	10



回答者の6割以上が①～⑨の項目を選択した。

「⑨乳幼児を車の中に放置する 65件（86.7%）」「⑤子どもに見える場所で、配偶者や他の家族に暴力をふるう 63件（84.0%）」「②言葉によるおどかしや脅迫をする 61件（81.3%）」「④罰として、食事を抜きにする 61件（81.3%）」は、8割を超えた。

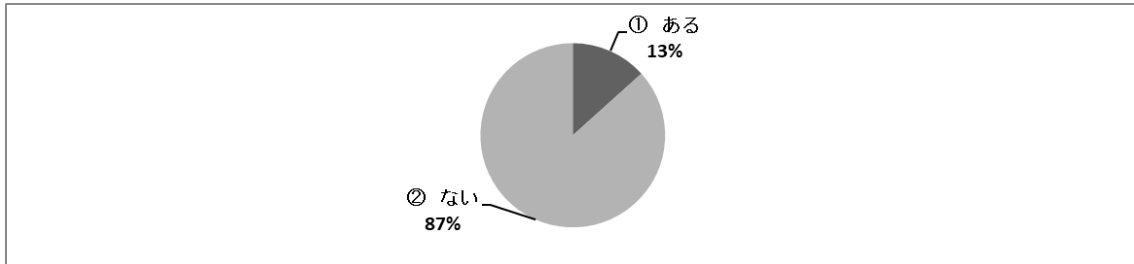


問 15 身近なところで児童虐待と思われる状況を見たり聞いたりしたことはありますか。

全回答数 (件) 75

回答者数 (人) 75

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① ある	10	13.3	2
② ない	65	86.7	1



「②ない 65 件 (86.7%)」の方が多いが、「①ある 10 件 (13.3%)」も 1 割を超えた。

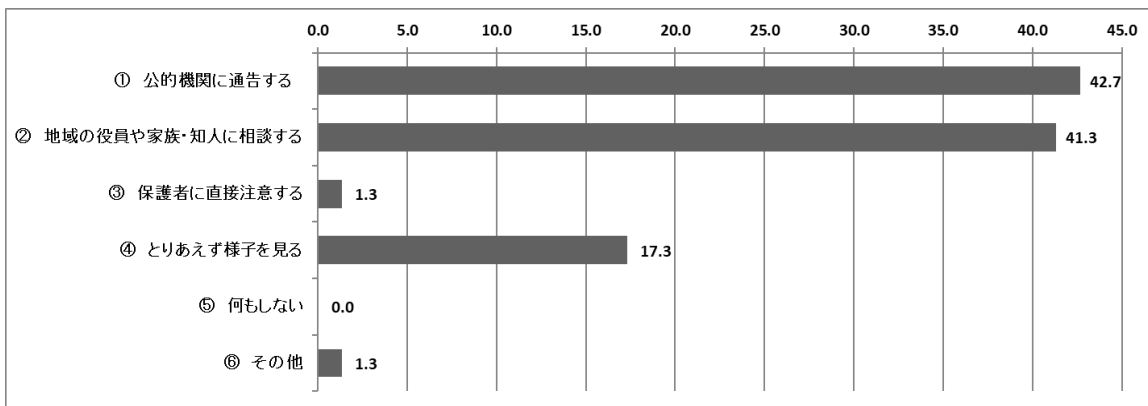


問 16 児童虐待が行われている家庭を知ったとき、あなたなら最初にどうしますか。

全回答数（件） 78

回答者数（人） 75

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 公的機関に通告する	32	42.7	1
② 地域の役員や家族・知人に相談する	31	41.3	2
③ 保護者に直接注意する	1	1.3	4
④ とりあえず様子を見る	13	17.3	3
⑤ 何もしない	0	0.0	6
⑥ その他	1	1.3	4



【⑥その他の意見】

- 事実確認をする。

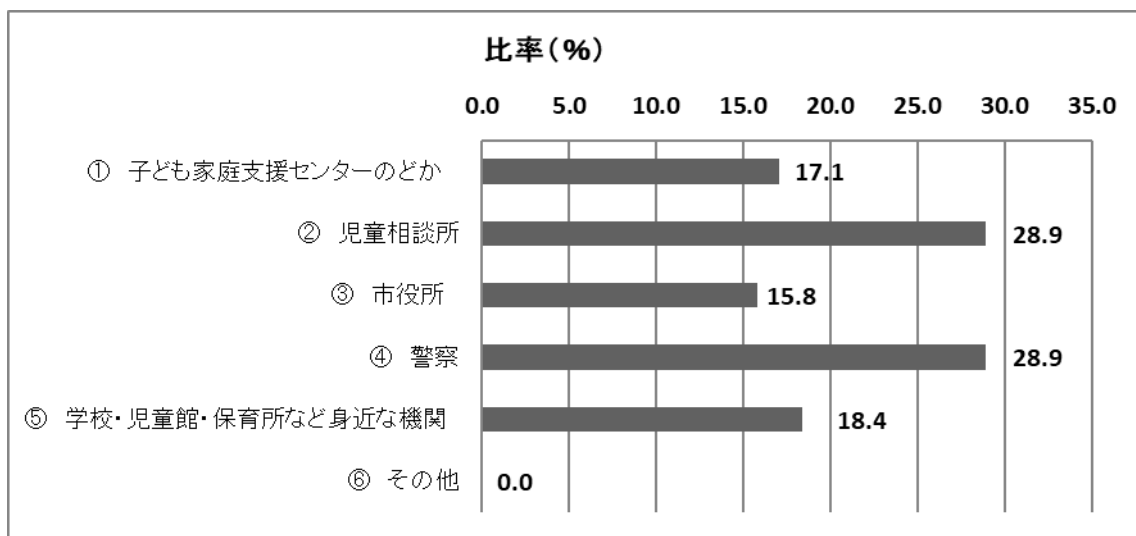
「①公的機関に通告する 32 件 (42.7%)」が最も多く、次に「②地域の役員や家族・知人に相談する 31 件 (41.3%)」となった。また、「⑤何もしない」と回答した人はいなかった。

問 17 公的機関に児童虐待の通告をしたら、どこにしますか。

全回答数 (件) 83

回答者数 (人) 76

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 子ども家庭支援センターのどか	13	17.1	4
② 児童相談所	22	28.9	1
③ 市役所	12	15.8	5
④ 警察	22	28.9	1
⑤ 学校・児童館・保育所など身近な機関	14	18.4	3
⑥ その他	0	0.0	6



「②児童相談所 22 件 (28.9%)」と「④警察 22 件 (28.9%)」が最も多く、次に「⑤学校・児童館・保育所など身近な機関 14 件 (18.4%)」となった。

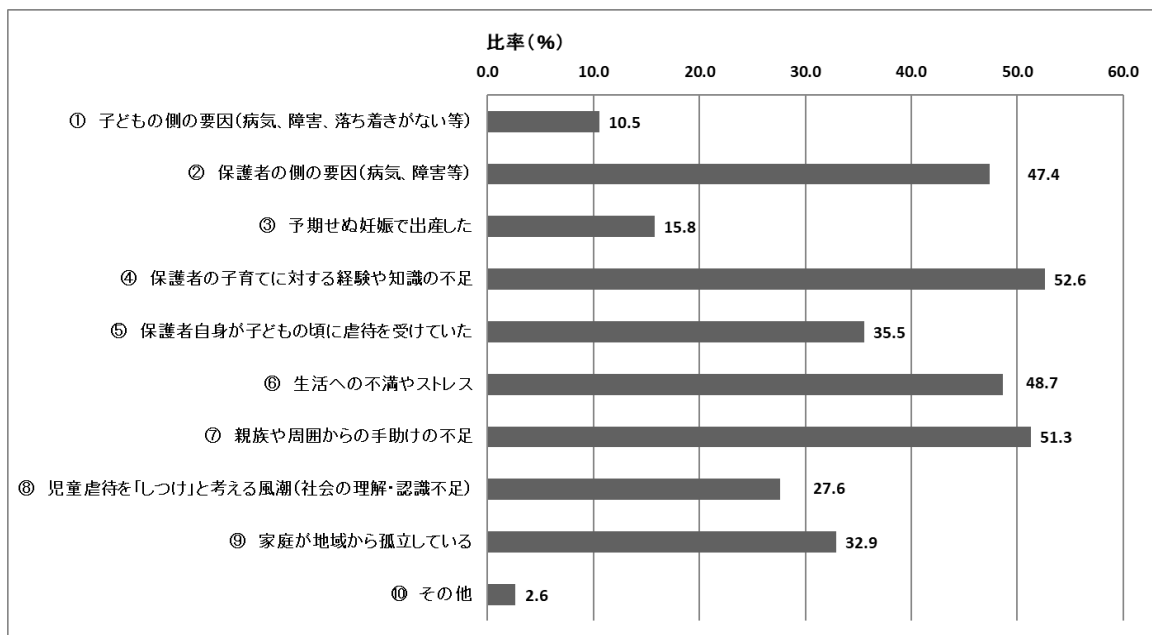
問 18 あなたは、なぜ児童虐待が起こると思いますか。

あなたの考えに近いものを3つまでお選びください。

全回答数（件） 247

回答者数（人） 76

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 子どもの側の要因(病気、障害、落ち着きがない等)	8	10.5	9
② 保護者の側の要因(病気、障害等)	36	47.4	4
③ 予期せぬ妊娠で出産した	12	15.8	8
④ 保護者の子育てに対する経験や知識の不足	40	52.6	1
⑤ 保護者自身が子どもの頃に虐待を受けていた	27	35.5	5
⑥ 生活への不満やストレス	37	48.7	3
⑦ 親族や周囲からの手助けの不足	39	51.3	2
⑧ 児童虐待を「しつけ」と考える風潮(社会の理解・認識不足)	21	27.6	7
⑨ 家庭が地域から孤立している	25	32.9	6
⑩ その他	2	2.6	10



【⑩その他の意見】

- 親が未熟。(2件)

「④保護者の子育てに対する経験や知識の不足 40件 (52.6%)」「⑦親族や周囲からの手助けの不足 39件 (51.3%)」が50%を超え、次に「⑥生活への不満やストレス 37件 (48.7%)」、「②保護者の側の要因(病気・障害等) 36件 (47.4%)」と続いた。

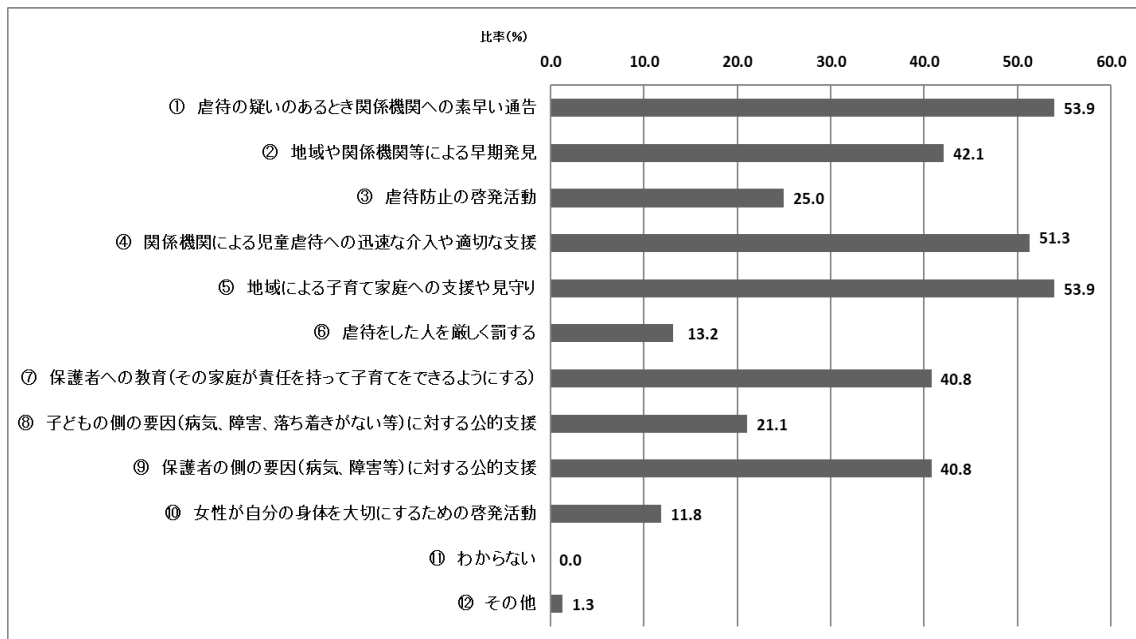
問 19 児童虐待を防止するため、どのようなことが必要だと考えますか。

当てはまるものを3つまでお選びください。

全回答数（件） 270

回答者数（人） 76

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 虐待の疑いのあるとき関係機関への素早い通告	41	53.9	1
② 地域や関係機関等による早期発見	32	42.1	4
③ 虐待防止の啓発活動	19	25.0	7
④ 関係機関による児童虐待への迅速な介入や適切な支援	39	51.3	3
⑤ 地域による子育て家庭への支援や見守り	41	53.9	1
⑥ 虐待をした人を厳しく罰する	10	13.2	9
⑦ 保護者への教育(その家庭が責任を持って子育てをできるようにする)	31	40.8	5
⑧ 子どもの側の要因(病気、障害、落ち着きがない等)に対する公的支援	16	21.1	8
⑨ 保護者の側の要因(病気、障害等)に対する公的支援	31	40.8	5
⑩ 女性が自分の身体を大切にするための啓発活動	9	11.8	10
⑪ わからない	0	0.0	12
⑫ その他	1	1.3	11



#### 【⑫その他の意見】

##### ● 地域との連携

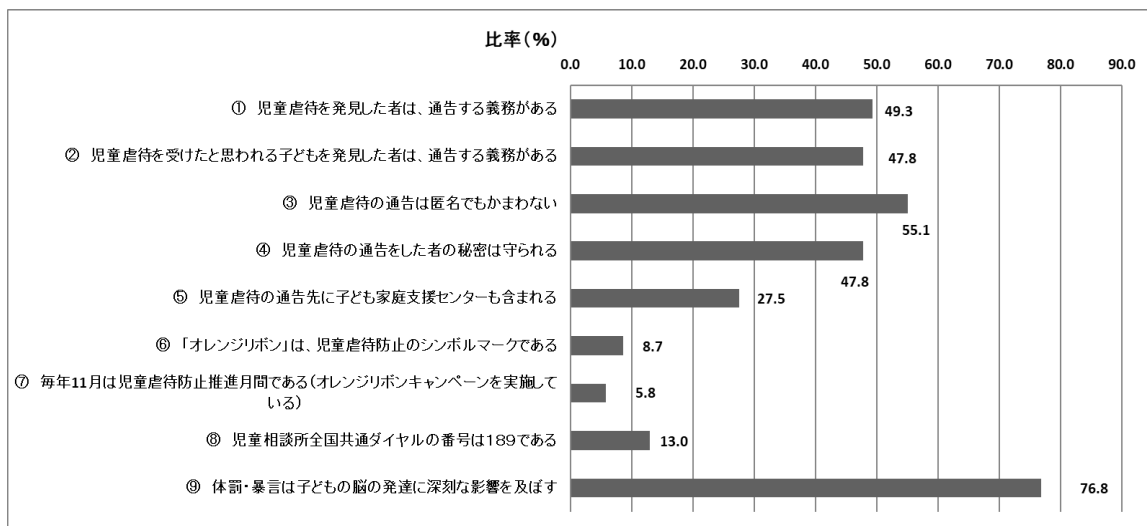
「①虐待の疑いのあるとき関係機関への素早い通告 41 件 (53.9%)」と「⑤地域による子育て家庭への支援や見守り 41 件 (53.9%)」が最も多く、次に「④関係機関による児童虐待への迅速な介入や適切な支援 39 件 (51.3%)」となった。

問 20 児童虐待について、あなたが知っていることを次の中から全てお選びください。

全回答数（件） 229

回答者数（人） 69

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 児童虐待を発見した者は、通告する義務がある	34	49.3	3
② 児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通告する義務がある	33	47.8	4
③ 児童虐待の通告は匿名でもかまわない	38	55.1	2
④ 児童虐待の通告をした者の秘密は守られる	33	47.8	4
⑤ 児童虐待の通告先に子ども家庭支援センターも含まれる	19	27.5	6
⑥ 「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークである	6	8.7	8
⑦ 毎年11月は児童虐待防止推進月間である(オレンジリボンキャンペーンを実施している)	4	5.8	9
⑧ 児童相談所全国共通ダイヤルの番号は189である	9	13.0	7
⑨ 体罰・暴言は子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼす	53	76.8	1



「⑨体罰・暴言は子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼす 53 件（76.8%）」が最も多く、次に「③児童虐待の通告は匿名でもかまわない 38 件（55.1%）」となった。

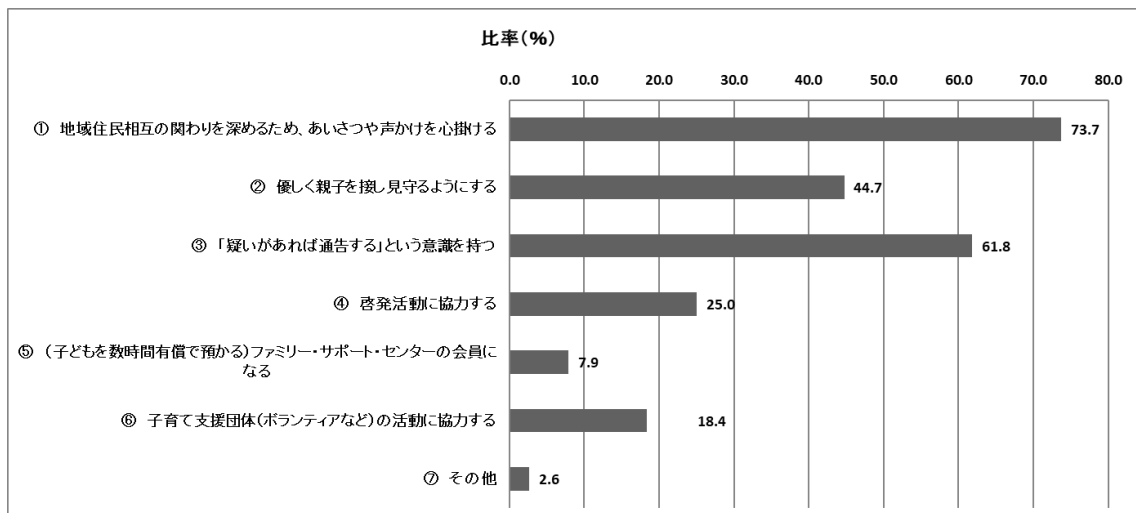
問 21 児童虐待防止のために、あなた自身何ができると思いますか。

当てはまるものを全てお選びください。

全回答数 (件) 178

回答者数 (人) 76

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 地域住民相互の関わりを深めるため、あいさつや声かけを心掛ける	56	73.7	1
② 優しく親子を接し見守るようになる	34	44.7	3
③ 「疑いがあれば通告する」という意識を持つ	47	61.8	2
④ 啓発活動に協力する	19	25.0	4
⑤ (子どもを数時間有償で預かる)ファミリー・サポート・センターの会員になる	6	7.9	6
⑥ 子育て支援団体(ボランティアなど)の活動に協力する	14	18.4	5
⑦ その他	2	2.6	7



#### 【⑦その他の意見】

- 児童虐待を早期に発見するためには、やはり子どもと関わりを持つ保育士や学校の先生の人数を増やすことが一番だと思う。今の1人の保育士・先生に対する子どもの人数では難しいので、正規の人数を増やすことが必要。
- 地域住民の関わりを深めると言っても限界がある。
- 学校の教育(道徳)の中で男女平等、ひとりひとりの人間を尊重すること、親子も平等であること、子どもは小さくひとりでは何もできないので親が子どものお世話をしてあげるといふ親としての責任を教えてあげることが大事である。
- 強い者が弱い者を力で支配してはいけないということ子ども時から認識してすることが必要。虐待を受けている子どもが自分が被害者であることを認識できるようになる。
- 虐待する親へのストレス軽減、子育てを手伝う等、子どもの一時預かり等でストレスを軽くする。夫がする場合、一時避難先への提供。

「①地域住民相互の関わりを深めるため、あいさつや声かけを心掛ける 56 件 (73.7%)」が最も多く、次に「③疑いがあれば通告するという意識を持つ 47 件 (61.8%)」となった。

■今と未来を生きる全ての子どものために■

## 西東京市

# 子ども条例

を紹介します！

子ども条例は、今と未来を生きる全ての子どもが健やかに育つ環境を整え、まち全体で子どもの育ちを支えていくことを目的としてつくられています。

この条例には、はじめに、基本的な考え方や子どもをはじめ市民の皆さんへのメッセージとして「前文」が書かれています。

また、子どもの育ちを支える人たちの役割や子どものために特に進めていきたい取組、子どもの悩み事・困り事を相談できる仕組みをつくること等が書かれています。

### 【子どもの育ちを支える人たちの役割】

条例には、子どもの育ちを支える人たちの役割とそれぞれが連携・協働していくことを載せています。

また、保護者の皆さんをはじめ、子どもの育ちを支える人たちが役割を果たせるよう、お互いに支援されることが示されています。



※育ち学ぶ施設の関係者…保育園、幼稚園、小・中学校、高校、児童養護施設、児童館・センター、学童クラブ等のこと



## 【子どもにやさしい西東京を目指した取組】

まち全体で子どもの育ちを支え、子どもにやさしいまちを目指して、次の取組を進めています。

- 虐待を防ぎます。
- いじめ等の子どもの権利を侵害する問題に対応します。
- 子どもの貧困を防ぎます。
- ころとからだの健康と安全な環境をつくります。
- 子どもが安心して遊んだり、学んだり、活動したりして過ごせる居場所づくりをします。
- 社会の一員として、子どもの考えや意見を大切にします。
- 子どもの権利について広め、みんながお互いを大切にできるようにします。

「子ども条例」の全文はこちらから読めます。

※市ホームページです。



西東京市は児童虐待防止に取り組んでいます！

もしかして児童虐待？と思ったら……  
ためらわずに相談を

西東京市子ども家庭支援センターのどか

☎ 042-439-0081

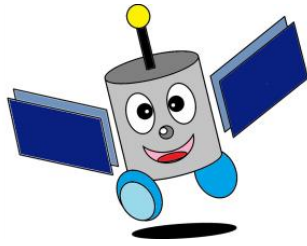
月曜日～金曜日：午前9時～午後4時

土曜日：午前9時～正午・午後1時～4時

(日曜日・祝日・年末年始は休み)

児童相談所 全国共通ダイヤル 189番 365日24時間

子どもが危険で一刻を争う場合は、警察署へ ⇒ 110番



西東京市